

住まい

空き家情報

- 空き家等の情報をホームページ等で紹介



- 企画財政課 ☎022-341-8510

住宅取得支援

- 定住人口の増加を目指し、新規転入する若者世帯及び、新たに三世帯で同居する世帯が取得する住宅に対し、最大150万円の補助金を交付

- 都市建設課 ☎022-341-8515

- 太陽光発電システム設置等に係る費用について補助金を交付

- 太陽光発電設備出力1kwあたり5万円(上限17.5万円)

- 定置用リチウムイオン電池設備購入及び工事費の1/10(上限10万円)

- HEMS(ホームエネルギー管理システム)設備購入及び工事費の1/5(上限2万円)

- 住民生活課 ☎022-341-8512

子育て

医療費助成

- 出生から18歳の年度末まで、入通院費の自己負担分を全額助成

- 住民生活課 ☎022-341-8512

出産支援

- 妊婦へ5万円の子育て支援券を交付し、タクシー利用料及び育児用品(紙おむつ・粉ミルク)の購入を助成

- 出産祝い金5万円を支給

- 健康福祉課 ☎022-345-0253

就学・教育支援

- 小学校、中学校入学時にそれぞれ3万円支給

- 健康福祉課 ☎022-345-0253

- 学校給食費無料

- 学校給食センター ☎022-345-5082

その他

結婚支援

- 黒川地区後継者対策推進協議会で結婚相談所、婚活イベントを開催

- 産業振興課 ☎022-341-8514

その他

- 村内に本社を置く企業が生産した自動車を購入した方に対し、補助金を1台当たり最大5万円交付

- 産業振興課 ☎022-341-8514

- グリーンエネルギーカーを購入された方に対して1台当たり補助金を交付

- 水素自動車…30万円

- 電気自動車…6万円

- プラグインハイブリット…5万円

- 電気式ミニカー…3万円

- 住民生活課 ☎022-341-8512

県南エリア

しろいしし

白石市



お問い合わせ

- 白石市市民経済部まちづくり推進課定住促進係

☎0224-22-1327

〒989-0292

白石市大手町1番1号



移住に関するページ



ホームページ

白石市暮らしのデータ

- 人口: 31,661人
 - 世帯数: 14,119世帯
 - 保育施設等の数: 10所
 - 小学校の数: 10校
 - 中学校の数: 5校
 - 病院の数: 3院
 - 一般診療所の数: 18所
- 令和5年4月1日時点

人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし

白石市は、西に蔵王連峰を望み、東は阿武隈山系に囲まれ、清流「白石川」が流れる豊かな自然と清らかな水に恵まれた城下町です。市の中心部には忠実に復元されたシンボル「白石城」があり、歴史や自然に恵まれた四季折々のイベントを開催しています。また、平成30年にオープンした白石市移住交流サポートセンター「109-one(トークワン)」では、ライフスタイルに合わせた移住相談や地域のひととの交流を行っています。



〈鬼小十郎まつり〉片倉小十郎重長の大坂夏の陣における活躍と歴史秘話を再現



〈市内散策〉歴史と清流のまちなみ散策

▶動画もチェック!



生活交通情報

仙台市との距離感

●電車: 約15分(JR仙台駅~白石蔵王駅(新幹線))、在来線約50分(JR仙台駅~白石駅(東北本線))

●車: 約45分(仙台宮城IC~白石IC(東北自動車道)~国道4号)

地域内の移動手段

●電車: 在来線(東北本線)が通り、市内に4つの駅がある

●バス: 市民バス(1回乗車200円)のほか、路線バス(白石遠刈田線)と七ヶ宿町営バスも利用可能

●車: 東北自動車道の白石ICまで中心部から約10分

＼こんな人におすすめ!／

交通アクセスが気になる方

充実した子育て環境を求めている方

温泉や景勝地など自然豊かな場所を探している方



空き家情報

- 空き家バンクに登録された物件をホームページにて紹介
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327

住宅取得支援

- 白石市に転入して新築住宅もしくは中古住宅を取得した方へ30万円を補助(市内の建設関連業者を利用した場合は20万円を上乗せ)
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327
- 白石市子育て応援住宅を退去後、3年以内に、市内に住宅を取得し定住した場合、家賃の30%を入居月数分補助
- 建設課 ☎0224-22-1326

住宅取得支援・家賃補助

- 結婚に伴う経済的負担を軽減するため、婚姻時における年齢が夫婦とも39歳以下の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(住宅の取得費用、新居の家賃、引越し費用等)を支援
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327



医療費助成

- 中学3年生まで保険診療による自己負担なし
- 健康推進課 ☎0224-22-1362

出産支援

- 誕生祝い金10,000円(第3子以降20,000円)
すくすくベビー券(育児用品助成)4,000円
- 子ども家庭課 ☎0224-22-1363
- 母子健康手帳交付時に下記の健診助成券を交付
 - ・妊婦健康診査受診票(助成券):最大14回分(多胎妊娠は21回分)の妊婦健康診査費用を助成
 - ・妊婦歯科健康診査受診票:妊娠中の歯科健康診査費用(1回分)を助成
 - ・産婦健康診査受診票(助成券):産後2週間時と産後1か月時に受けられる産婦の健康診査費用を助成
- 新生児聴覚検査受診票(助成券):生後2～3日頃に受けられる新生児聴覚検査初回検査の費用を助成
- 乳児一般健康診査票:生後2か月時と8～9か月時に受けられる乳児一般健康診査票を交付
- 健康推進課 ☎0224-22-1362

育児費用負担軽減

- 義務教育終了前の子どもがいる家庭に住宅を提供(3DK・家賃30,500円～)
- 建設課 ☎0224-22-1326
- 第3子以降保育料無料(要件あり)
- 子ども家庭課 ☎0224-22-1363

生活支援

- 保護者の方の入院や通院、学校行事への参加、また、育児疲れによる負担軽減などのため一時的に保育が必要なお子さんをお預かりします
- 共働きなどにより放課後に保護者がいない家庭のための放課後児童クラブを実施
- 子ども家庭課 ☎0224-22-1363

相談・交流支援

- 子育て情報誌「子育てホッとマップ」の配布
- 相談者へ寄り添い、子育て施設や窓口を紹介する子育て支援コーディネーターによる相談受付
- 子ども家庭課 ☎0224-22-1363

就学・教育支援

- 遠距離通学をする小・中学生の保護者を対象に以下の金額を補助(小学生4km以上、中学生6km以上。その他要件あり)
 - ・交通機関利用の場合→1/2×通学日数
 - ・交通機関利用以外の場合→小学生5,400円/年、中学生9,600円/年
- 学校管理課 ☎0224-22-1342
- 小学校入学祝い金(第3子以降)
- 子ども家庭課 ☎0224-22-1363



起業支援

- 空き店舗等を改装して起業する際の補助(補助率1/3、上限50万円)
- 創業支援ワンストップ窓口の設置
- 商工観光課 ☎0224-22-1321

相談・体験

移住相談窓口

- 移住定住に関する相談窓口「白石市移住交流サポートセンター109-one(トークワン)」を開設。移住コーディネーターが相談者にあった住まいや暮らしに関する情報提供および支援を行う
- 移住交流サポートセンター ☎0224-26-6201
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327

お試し住宅

- 「白石市移住交流サポートセンター109-one」に併設された中心市街地エリアと、山間エリアに一棟ずつお試し住宅を設置。移住相談を含め、2泊3日から9泊10日まで利用することができる。
 - ・利用料:無料(利用するにあたり条件あり)
 - ・利用回数:2回まで
- 移住交流サポートセンター ☎0224-26-6201
- まちづくり推進課 ☎0224-22-1327

かくだし
角田市



移住に関するページ



ホームページ

■角田市暮らしのデータ

- 人口: 27,088人
 - 世帯数: 11,441世帯
 - 保育施設等の数: 6所
 - 小学校の数: 5校
 - 中学校の数: 2校
 - 病院の数: 3院
 - 一般診療所の数: 7所
- 令和5年4月1日時点

お問い合わせ
●角田市総務部まちづくり推進課定住交流係
☎0224-63-2112
〒981-1592
宮城県角田市角田字大坊41

市民力咲き誇る。角田市✳
～安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまち～

角田市は、宮城県の南部に位置し、豊かな田園風景が広がる比較的温暖な気候の土地です。主に製造業と農業が盛んで、県南随一の穀倉地帯として知られており、米や大豆の生産、梅や野菜、果樹などの栽培も盛んです。1年を通して地域資源を生かした「梅まつり」や「ずんだまつり」、「宇宙っ子まつり」などさまざまなイベントが開催されています。大型ショッピングモールや海や山でのレジャー、温泉など、車で1時間以内の場所にあり、休日もアクティブに過ごすことができます。



〈H-IIロケット実物大模型〉台山公園にある日本で唯一のH-IIロケット実物大模型



〈食の3め(米・豆・梅)〉安心、安全の美味しい角田産の米・豆・梅

生活交通情報

仙台市との距離感

- 電車: 約50分 (JR仙台駅～槻木駅 (JR東北本線)～角田駅 (阿武隈急行線))
- バス: 約50分 (仙台駅東口、東北大学病院前～角田金上病院前、道の駅かくだ (高速バス))
- 車: 約45分 (仙台東IC～山元IC (常磐自動車道)～県道272号線)

地域内の移動手段

- 電車: 阿武隈急行線が通っており、市内には4つの駅がある
- 車: 常磐自動車道の山元ICまで車で約15分
- 市内はデマンド型乗合タクシーを運行していますが、生活上、自家用車の必要性が高い地域です

＼こんな人におすすめ!／

宇宙・ロケットが好きな方

スポーツ・ウォーキング・体を動かすことが好きな方

田舎暮らし初心者の方
～田舎過ぎず都会過ぎず～

住まい

住宅取得支援・家賃補助

- 結婚に伴う経済的負担を軽減するため、婚姻時における年齢が夫婦とも39歳以下の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(住宅の取得費用、新居の家賃、引越し費用等)を支援している
- まちづくり推進課 ☎0224-63-2112

子育て

医療費助成

- 通院・入院とも18歳となる年度の年度末まで無料(所得制限なし)
- 子育て支援課 ☎0224-63-0134

出産支援

- 妊婦健康診査費助成(公費助成14回)
出産祝い金(第1子2万円、第2子以降5万円)
産婦健康診査費助成
産後ケア(通所、宿泊、訪問型)
- 子育て支援課 ☎0224-63-0134

育児費用負担軽減

- 小学校入学祝子育て応援券支給事業
市内に住んでいる子が小学校へ入学する保護者へ商品券を一人につき3万円支給
- 子育て支援課 ☎0224-63-0134

相談・交流支援

- 子育て支援センターまめっこ(角田児童センター内)にて育児相談、親子の遊び場、子育て講座などを行っている
- 子育て支援課 ☎0224-63-0134
- 小学校入学前のお子さんとその保護者を対象に、楽しく子育てするコツなどを講師の先生から学びながら、ふれあい遊びを通じた参加者同士の交流を図ることを目的とした子育て応援事業「ふあみふあみ」を実施している
- 生涯学習課 ☎0224-63-2221

- 元気な子どもの育成を目指し、乳幼児期に親子で楽しく体を動かす「運動あそび」の体験会や講座を、乳幼児健診や子育て支援センター等で年間を通して実施している、また、保育所、幼稚園、認定こども園等と連携して、集団での「運動あそび」の出前講座も行っている【かくだ版アクティブ・チャイルドプログラム】
- 生涯学習課 ☎0224-63-2221

生活支援

- 保護者の就労などにより放課後に家庭で過ごすことが難しい児童生徒(小学校6年生)までをお預かりする放課後児童クラブを実施
- 子育て支援課 ☎0224-63-0134
- 中学3年生のインフルエンザの予防接種料金を一部負担
- 健康長寿課 ☎0224-63-1192

子育て支援

- 第2子以降の保育料無償化
子育て世代包括支援センター(愛称:ほっぺ)で妊娠期から子育て期にわたり相談に応じる
産婦人科医・小児科医・助産師に何度でも無料相談が出来る
- 子育て支援課 ☎0224-63-0134

就学支援

- 就学援助事業
経済的な理由により小中学校への就学が困難な児童生徒の保護者に対し、入学準備費、学用品費、学校給食費等の一部を支給
- 子どもの心のケアハウス事業
不登校児童生徒の教育相談・学習支援
- 奨学金貸与事業
就学のあるにもかかわらず、経済的な理由により就学が困難な方に対し、奨学金の貸与を行っている(高校生・大学生・専門学校生)
- 教育総務課 ☎0224-63-0130

教育支援

- 第2子以降の小中学校給食費無償化
- 学校給食センター ☎0224-87-7202

その他

結婚支援

- 結婚に伴う経済的負担を軽減するため、婚姻時における年齢が夫婦とも39歳以下の新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(住宅の取得費用、新居の家賃、引越費用等)を支援
- まちづくり推進課 ☎0224-63-2112

交流事業

- 姉妹都市である福島県石川町、北海道栗山町、アメリカ国グリーンフィールド市、友好都市である東京都目黒区、銀河連邦共和国との交流事業が盛んです
- まちづくり推進課 ☎0224-63-2112

阿武隈急行線運賃助成

- 学校行事や子ども会行事、スポーツ少年団の活動で利用する場合:全額助成
市内にお住まいの方、市内の企業、学校に通勤・通学されている方が2名以上で同じ行程で利用する場合:半額助成
- まちづくり推進課 ☎0224-63-2112

デマンド型乗合タクシー

- 市内を4つの運行エリアに分けデマンド型乗合タクシーを運行しています。各地域から中心市街地への通院やお買い物に事前に予約して自由に乗り降りできます
ご利用料金1回乗車 400円(特別運行200円)



県南エリア

ざおうまち
蔵王町



お問い合わせ
●蔵王町まちづくり推進課
☎0224-33-2212
〒989-0892
宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦北10



移住に関するページ



ホームページ

蔵王町暮らしのデータ

- 人口:11,175人
- 世帯数:4,554世帯
- 保育施設等の数:4所
- 小学校の数:5校
- 中学校の数:3校
- 病院の数:1院
- 一般診療所の数:5所
令和5年4月1日時点

美しい蔵王連峰の山麓

仙台から車で1時間。蔵王連峰の裾野に広がる蔵王町は、有名な「御釜」をはじめ、四季折々の自然が豊かな町。大地のパワーが湧き出る豊富な温泉や、爽やかな高原の空気、水に育まれた新鮮な食材を使ったこだわりグルメ、歴史の面影を偲ばせる名所旧跡など、あらゆる魅力でいっぱいです。

思い立ったらふらっとざおうへ!心の深呼吸しに来ませんか。



〈御釜〉蔵王連峰の象徴「御釜」



〈蔵王の美味しい「梨」〉宮城県内の生産量を誇る「梨」。直売所でもぎたてを召し上がれ!

動画もチェック! youtube 蔵王町Miyagi Zao で検索

生活交通情報

仙台市との距離感

- 電車:約40分(JR仙台駅~東白石駅(東北本線))
- バス:約60分(JR仙台駅~町内停留所5カ所(高速バス))
- 車:約40分(仙台宮城IC~村田IC(東北自動車道)~県道岩沼蔵王線)

地域内の移動手段

- バス:民間事業者が路線バスを運行している
- 車:東北自動車道の白石IC、村田ICまで車で約10分
- その他:路線バスが運行していない地域で循環型乗合タクシーを運行

こんな人におすすめ!

温泉が好きな方

アウトドアスポーツを
楽しみたい方

自然に囲まれて
暮らしたい方

住まい

住宅取得支援

- 定住促進事業補助金：移住・定住を目的に住宅を取得（新築・建売・中古）した人に、新築・建売の場合最大80万円、中古の場合最大50万円の補助金を交付
- まちづくり推進課 ☎0224-33-2212

子育て

医療費助成

- 18歳まで保険診療分全額助成。所得制限なし
- 町民税務課 ☎0224-33-3001

出産支援

- 14回分の妊婦健康診査にかかる費用を助成（多胎妊娠の方は、14回分の他に6回分の助成を追加交付）
- 保健福祉課 ☎0224-33-2003
- お子さんの出生に第3子目から助成金を支給します。（町内に住所を有している間に生まれた子の人数が3人目以上のとき40万円）
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122

子育て支援

- インフルエンザワクチン接種、中学3年生無料。6ヶ月児～中学2年生は、1回につき1千円の自己負担で接種できます
- おたふくかぜワクチン、1回のみ1千円の自己負担で接種できます
- 子育て支援センターでは、親子で自由にあそべるスペースがあり、年齢別クラス、子育て講習会のほか各種育児講座を行っています。育児相談も随時受け付けています
- 町立保育所で0歳児（生後6カ月）から2歳児を受け入れ、延長保育実施
延長保育時間：午前7時30分から午前8時30分、午後4時30分から午後6時30分
- 町内の認可外保育所に通う保育を必要とする幼児保育無償化対象外の児童に対し、待機児童対策として42,000円を上限とし町保育所保育料との差額を補助
- 町立こども園で0歳～5歳児保育。（幼稚園と保育所の特徴を併せ持つ）
幼稚園（3～5歳児）：午前8時30分から午後1時00分、保護者の就労等で保育を必要とする0～5歳児：午前7時30分から午前8時30分、午後4時30分から午後6時30分延長保育実施
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122
- 町立幼稚園で3年保育（3歳から5歳）、預かり保育実施（給食あり。おやつ代を除く給食費無償）
預かり保育時間：午前7時30分から午前8時30分、午後1時から午後6時30分
- 教育総務課 ☎0224-33-3008

就学・教育支援

- 小・中学校の完全給食実施
- 町育英会による奨学金を貸付
- 経済的な理由で就学に支障をきたす方への就学援助制度があります
- 教育総務課 ☎0224-33-3008

仕事

起業支援

- 企業奨励金の交付（新設・増設等を行った企業に対して奨励金を交付）
- まちづくり推進課 ☎0224-33-2212

就農支援

- 次世代を担う農業者となることを希望する方に対して、投資資金を補助（諸条件あり）
- 農林観光課 ☎0224-33-3004

相談・体験

移住相談窓口

- 住まい・生活・仕事など何でも相談に応じます。相談員は蔵王町に移住した先輩方です
- 蔵王移住相談室 ☎0224-26-6115

その他

結婚支援

- 婚活イベントを行い、これまでイベントで出会った8組のカップルが結婚しています
- 町内に住所のある独身者が負担した、みやマリ、みやぎPISAの入会費の2分の1を結婚活動支援事業として補助
- 子育て支援課 ☎0224-33-2122



しちかしゆくまち
七ヶ宿町



■七ヶ宿町暮らしのデータ

- 人口:1,233人
 - 世帯数:602世帯
 - 保育施設等の数:1所
 - 小学校の数:1校
 - 中学校の数:1校
 - 一般診療所の数:1所
- 令和5年4月1日時点



移住に関するページ



ホームページ

お問い合わせ
●七ヶ宿町ふるさと振興課
☎0224-37-2194
〒989-0592
宮城県刈田郡七ヶ宿町字関126

豊かさを実感できる
住み心地100点のまち

七ヶ宿町は、宮城県の南西端に位置する自然豊かな町で、宮城県民193万人の命の水となる七ヶ宿ダムを擁する水源の町でもあります。春は水芭蕉、夏は新緑、秋は紅葉、冬は白銀と四季折々の表情に癒されます。JRの駅や高速道のICまで約30分と交通アクセスも便利。そば街道やスキー場に多くの観光客が訪れます。現在、保育料および学校給食の無料化、高校生までの医療費の無料化等の子育て支援事業や住民健診の充実化等の健康推進事業を実施し、乳児から高齢者まで全ての世代が安心して暮らせる「住み心地100点」のまちづくりをすすめています。

📺 動画もチェック! [七ヶ宿町公式Youtube](#) で検索



〈ナナイロレンジャー〉怪人カソカから町を救うためナナイロレンジャーが始動! 町内の活躍している方をPR中。



〈わらじで歩こう七ヶ宿〉毎年8月の末に行われ約400人の参加者で賑わう最大のイベントです。

🚗 生活交通情報

仙台市との距離感

- 電車:約100分(JR仙台駅~白石駅(東北本線)+町営バスを利用)
- 車:約75分(仙台宮城IC~白石IC(東北自動車道)~国道113号線)

地域内の移動手段

- バス:町営バス(1回乗車200円)を運行
- 車:東北自動車道の白石ICまで車で約40分

＼こんな人におすすめ!／

四季の変化を感じながら暮らしたい方

充実した子育て支援・住宅支援を望む方

人と人とのつながりを大切にしたい方

🏠 住まい

空き家情報

- 空き家の情報を、町ホームページ「しちかしゆ暮らし」で紹介
- 農林建設課 ☎0224-37-2115

住宅取得支援

- 地域担い手づくり支援住宅
40歳までのご夫婦で中学生以下のお子さんがいる世帯対象で、地域の活動に積極的に参加してくれる方向け住宅、住んで20年後に家と土地を無償提供
※募集期間あり。申請後、面接を行い決定
月39,000円+敷金117,000円
- 町内に住宅を新築または二世帯住宅への改修などで、最大300万円を助成
- 農林建設課 ☎0224-37-2115

リフォーム支援

- 空き家のリフォームやバリアフリー化、電気給湯器設置などで、最大100万円を助成
- 農林建設課 ☎0224-37-2115

家賃補助

- 町内の民間賃貸住宅に入居されている方に、月最大25,000円を助成
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

住宅関連負担軽減

- 定住促進宅地
40歳までのご夫婦で中学生以下のお子さんがいる世帯対象で、町有地を貸付け、期間内に住宅を建て居住した後、土地を無償譲渡
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2194

👨‍👩‍👧‍👦 子育て

医療費助成

- 高校3年生まで無料
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

出産支援

- 妊婦健診費用・交通費助成制度
- 健康福祉課 ☎0224-37-2331

育児費用負担軽減

- 子育て支援金制度
出生、小・中・高校入学時に支給
第1子総額30万円
第2子総額50万円
第3子以降総額70万円を支給
※七ヶ宿町在住1年以上の方対象
※出生時に七ヶ宿町在住6ヶ月~1年未満の方へは出産祝い金(町商品券)を支給
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

- 保育料無料
- 教育委員会 ☎0224-37-2112

- 産婦健診費用助成制度
- 3歳までのおむつ購入費用助成(月2,000円)
- 産後ママたちの交流会
- 乳幼児の健診助成制度
※1歳のお誕生健診、幼児健診は5歳6ヶ月まであり
- 予防接種の無料(定期接種)、一部助成(任意接種)制度
- 健康福祉課 ☎0224-37-2331

就学・教育支援

- スクールバス完備
 - 小学校入学時に運動着支給
※転校してきた場合はその都度
 - 放課後児童クラブの実施
 - 中学校までの学校給食費無料
 - 奨学資金の無利息貸付制度
 - 教育委員会 ☎0224-37-2112
-
- 移住定住者向け優遇金利適用ローン制度
 - 学生向け格安定期券
 - ふるさと振興課 ☎0224-37-2194

仕事

就職支援

- 無料職業紹介所として地域に根差した職業を紹介
 - 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所)
☎0224-26-6933
-
- 次世代リーダー育成助成金
若者世代の定住と就業の促進のため30歳未満の方を対象に月20,000円を3年間支給
 - 町民税務課 ☎0224-37-2114

起業支援

- 新規の開業や既存事業所の拡大に、上限200万円まで助成(総事業費の2/3)
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2177

就農支援

- 新規に就農する方で条件を満たした方に、最大で年間150万円を、最長7年間支給
- 農林建設課 ☎0224-37-2113

就林支援

- 山しごとの相談や林業事業所の紹介等
- 農林建設課 ☎0224-37-2113

町外通勤者応援事業

- 町外通勤者応援事業として町内ガソリンスタンドで使える給油券を支給
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

相談・体験



▲七ヶ宿くらし研究所HP

移住相談窓口

- 移住に関する住まいや仕事などの情報を提供
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2194
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所)
☎0224-26-6933

お試し住宅

- 田舎暮らしの生活体験住宅。週末のみ利用から1ヶ月単位の利用まで可
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所)
☎0224-26-6933

自然体験

- 七ヶ宿くらし研究所のホームページに最新情報を掲載。
(例)田植え、蛍観賞、雪遊び
- 移住・定住支援センター(七ヶ宿くらし研究所)
☎0224-26-6933

その他

結婚支援

- 結婚新生活応援金
夫婦どちらか一方が40歳未満の夫婦1組につき50万円支給
- 町民税務課 ☎0224-37-2114

地域おこし協力隊

- 令和5年4月現在で7名の協力隊が活動中。豊かな自然の中で地域住民とコミュニケーションを取りながら地域おこしに取り組んでくれる方募集中。詳しくは町公式ホームページをご覧ください
- ふるさと振興課 ☎0224-37-2194

各種検診無料

- 住民総合健診、骨粗しょう症、乳がん、子宮がん、脳ドックなど検診内容が充実
- 健康福祉課 ☎0224-37-2331

住民交流会

- 移住してきた方同士や地域の方と移住者の方、子育て世代など定期的に交流会を開催中。(R4は郷土料理交流会や自身のやりたいこと発表会、子育て世代交流会などを実施)移住を検討している方が先輩移住者に話を聞ける会もあり。詳しくは七ヶ宿まちづくり(株)ホームページをご覧ください
- 七ヶ宿まちづくり(株)
☎0224-26-6681
 - ふるさと振興課
☎0224-37-2194



▲七ヶ宿まちづくり(株)HP



おおがわらまち

大河原町



■大河原町暮らしのデータ

- 人口: 23,563人
 - 世帯数: 10,313世帯
 - 保育施設等の数: 5所
 - 小学校の数: 3校
 - 中学校の数: 2校
 - 病院の数: 1院
 - 一般診療所の数: 16所
- 令和5年4月1日末時点



ホームページ

お問い合わせ
 ●大河原町政策企画課
 ☎0224-53-2112
 〒989-1295
 宮城県柴田郡大河原町字新南19

ぎゅぎゅつとして、行きたいところに さざっと行ける、おおがわら

大河原町は、奥州街道の宿場町として栄え、現在も多くの商業施設や医療機関、国や県の出先機関が集中するなど、県南の交通・商業・行政の中心となっています。こうした生活の拠点性に加えて、美しい景観も魅力です。町の中心を流れる白石川の両岸には、毎年春にソメイヨシノが咲き誇ります。残雪の蔵王連峰を背景とした大河原の「一目千本桜」は他とは一味違う光景です。ぜひ一度、桜のトンネルを散策しませんか。



〈一目千本桜〉残雪の蔵王連峰を背景とした「一目千本桜」はまちのシンボル



〈おおがわら夏まつり〉半世紀以上の歴史を誇る「花火大会」

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車: 約35分 (JR仙台駅～JR大河原駅(東北本線))
- ・車: 約35分 (仙台宮城IC～村田IC(東北自動車道)～県道14号)

地域内の移動手段

- ・バス: 路線バス(宮城交通)
- ・車: 村田IC(東北自動車道)、白石IC(東北自動車道)まで約20分
- ・その他: デマンド型乗合タクシーを運行

こんな人におすすめ!

一目千本桜と暮らしたい方

買い物しやすいまちに住みたい方

学校、病院、駅、官公庁の近くに
住みたい方

住まい

住宅取得支援

- 次世代型住宅(スマートハウス)助成: 環境にやさしく、災害に強い住宅の普及促進のため、太陽光発電設備等を導入し居住する方に費用の一部を助成
- 町民生活課 ☎0224-53-2114

子育て

医療費助成

- 医療費助成: 高校を卒業するまでの子どもの医療費を助成(所得制限なし)
- 子ども家庭課 ☎0224-53-2251

出産支援

- 出産祝い金: 第3子以降出生祝い金として10万円を支給
- 主な健診の助成: 妊産婦健康診査の助成、多胎妊娠への追加助成、(13回)、里帰り出産等による県外での妊産婦健康診査と予防接種費用の助成、妊婦歯科健診の費用負担
- 子育て世代包括支援事業: 妊娠期から子育て期までの育児に関する相談に応じます
- 健康推進課 ☎0224-51-8623

子育て支援

- 中学3年生へのインフルエンザワクチン接種費用助成: 高校受験期の中学3年生に対してインフルエンザの予防接種費用を助成
- 健康推進課 ☎0224-51-8623
- 放課後子ども教室: 放課後の児童の居場所づくりを行っています。(小学3年生まで。一部6年生まで対象の学区あり)
- 生涯学習課 ☎0224-53-2758
- 放課後児童クラブ: 放課後等に保護者が家庭にいない小学生が対象(小学6年生まで)
- 子ども家庭課 ☎0224-53-2251
- ファミリーサポートセンター: 子育てを互いに支え合う会員組織。様々な子育て支援を受けることが可能
- ファミリーサポートセンター ☎0224-51-9960
- 子育て支援センター: 子育てに関する相談や講座、サークル活動等気軽に参加できます
- 子育て支援センター ☎0224-51-9297
- 入学祝い金: 第3子以降の児童の小学校入学時に祝い金3万円を支給
- 経済的な理由により、小・中学校への就学が困難なお子さんの保護者に対し、学用品・通学用品・校外活動費用等の一部を援助
- 教育総務課 ☎0224-53-2742

仕事

起業支援

- 融資：中小企業事業資金の低利融資を
あっせん(上限1千万円)
- 相談窓口：町内で起業・創業する方へ商
工会、金融機関と連携し相談、支援
- 商工観光課 ☎0224-53-2659

就農支援

- 新規就農者育成総合対策(経営開始資
金)：一定の条件を満たした新規就農者に
対し、最大150万円(最長3年間)を給付
- 農政課 ☎0224-87-6277

その他

結婚支援

- 婚活イベントの開催：新たな出会いの場
を提供
- 政策企画課 ☎0224-53-2112

県南エリア

むらたまち
村田町



お問い合わせ

●村田町まちづくり振興課政策推進班
☎0224-83-2113
〒989-1392
宮城県柴田郡村田町大字村田字迫6番地



移住に関するページ



ホームページ

■村田町暮らしのデータ

- 人口：10,204人
 - 世帯数：4,078世帯
 - 保育施設等の数：1所
 - 小学校の数：2校
 - 中学校の数：2校
 - 一般診療所の数：5所
- 令和5年4月1日時点

都会近くで ほどよい田舎暮らし

宮城県南部に位置し、豊かな自然と穏やかな気候が
魅力の村田町。町中心部に位置する東北自動車道「村
田IC」を利用すれば、仕事ヘレジャーへ快適アクセスで
都会へ「ほど良く近い」まちです。

また、歴史的資源にも恵まれており、江戸後期からの
商家町の土蔵群が今も町中心部に現存し、宮城県で唯
一、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてい
ます。町では、住宅取得や子育てで支援の助成などにより、
移住定住世帯及び子育て世帯をサポートしていきます！



〈村田IC/JCT〉町中心部の東北自動車道ICを利用
すれば、仙台市や隣県へ快適アクセス！



〈村田小学校〉桜咲く校舎でのびのびと充実した学校
教育を。夢に向かってたくましく生きる児童を育成します。

📺 動画もチェック! 村田町動画 で検索

🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

仙台市への直通高速バスを利用すれば、県庁前・仙台駅前まで約40分と通勤通学
に便利。自家用車でも村田ICを利用すれば、仙台駅前まで約30分程度と仙台市まで
快適にアクセスできます。
・車：約20分(仙台宮城IC(東北自動車道)～村田IC)

地域内の
移動手段

近隣市町のJR線3駅までは、車で約20～35分の距離。県内の大型商業施設、総
合医療施設、仙台空港などへいずれも車で20～50分圏内と、ほど良く近い!町内全
域でデマンドタクシーも運行し、高齢者も安心できます。

＼こんな人におすすめ!／

充実した環境で
子どもを育てたい方

都会に近い田舎で
暮らしたい方

歴史ある郷土で
暮らし学びたい方

＼移住者たちの声を知りたい方はこちらをCheck!／

M みやぎ移住・交流ガイド

エリア情報や、仕事情報、移住者イン
タビューなど宮城での暮らしがイメ
ージできるコンテンツ満載です。

<https://miyagi-ijuguide.pref.miyagi.jp/>

宮城県の暮らしを
ぜひ動画でもご覧ください。



空き家情報

- 町公式ホームページにて町内の空き家を紹介する「空き家バンク」制度を実施。空き家の所有者が物件を空き家バンクへ登録し、その物件を利用したい希望者が町へ利用希望登録をして、安心して両者が協議できるよう町がコーディネート(契約行為は当事者間で行う)



■まちづくり振興課 ☎0224-83-2113

住宅取得支援

- 町外からの転入者または子育て世帯の土地購入を伴う住宅取得に対して補助金の交付をします
- まちづくり振興課 ☎0224-83-2113

家賃補助

- 子育て世帯、転入世帯、若年夫婦世帯(夫婦いずれか一方が35歳未満)に該当する場合に家賃を優遇する定住促進住宅を完備(間取りは3DKバルコニー付で、月額は要件により変動)
 - ・子育て世帯(子2人)月額3万1千円
 - ・子育て世帯(子1人)月額3万7千円
 - ・若年夫婦世帯 月額3万7千円
 - ・転入世帯 月額3万7千円
- 建設水道課 ☎0224-83-6407

その他

- 子育て世帯・若年夫婦世帯・転入世帯向けの定住促進住宅で「あなたの住みたい」をサポート!(家賃は条件により変動します)
- 建設水道課 ☎0224-83-6407



医療費助成

- お子さまが高校を卒業する年度末(18歳に達する年度末)まで、けがや病気で通院・入院した場合に医療機関で支払った自己負担額を町が助成
- 子育て支援課 ☎0224-83-6405

出産支援

- お子さま出生時に紙おむつ券又はスターターキット「すくすくらりんボックス」をプレゼント(村田町キャラクターの「くらりん」が描かれたスターターキットには、出生後すぐに使っていただける用品やオリジナルのくらりんグッズがいっぱい入っており、出生届の際にお渡ししています。)
 - 内容例:肌着、タオル、食器類など
 - お子さまが誕生したご家庭を対象に、町指定有料ゴミ袋を60枚プレゼント
- 子育て支援課 ☎0224-83-6405

子育て支援

- 令和4年4月2日以降に生まれたお子様に「子育て支援金」を贈ります。～「子育て支援金」は次の3種類があります～
 - 満1歳祝金(令和5年4月から支給開始)
 - ※出生後、本町に最初に住民登録をしてから、満1歳の誕生日を迎えるまで継続して本町に住所があるお子さま

- 第1子:5万円
- 第2子:5万円
- 第3子以降:10万円
- 小学校入学祝金(令和11年4月から支給開始)
- ※満1歳祝金を受給してから、小学校に入学する年の4月1日まで、引き続き町内に住所があるお子さま
- 第1子:10万円
- 第2子:10万円
- 第3子以降:20万円
- 小学校入学支援金(令和11年4月から支給開始)
- ※小学校入学祝金に該当する児童以外で、小学校に入学する年の4月1日現在において町内に住所があるお子さま
- 第1子:5万円
- 第2子:5万円
- 第3子以降:10万円

- 第3子以降のお子さまに係る保育料等を月額最大5千円助成
- 子育て支援課 ☎0224-83-6405

- 子育てサークル、子育て相談、一時預かり保育のほか、お子さまの年齢にあわせた事業を子育て支援センターで実施
 - 町内全小学校対象に、留守家庭(放課後)児童学級を実施。授業終了後の放課後や夏休み・冬休みに児童更生施設を利用し適切な遊びや生活の場を提供
- 児童館・子育て支援センター ☎0224-83-3901

就学・教育支援

- 町内に住所があるご家庭で、第3子以降の児童が小学校へ入学する場合、小学校入学祝い金を支給
 - 第3子以降の児童1人につき3万円
- 子育て支援課 ☎0224-83-6405

- 村田小学校ではスクールバス送迎事業を実施しており、小学校から少し離れた地区にお住いの場合でも登下校時に安全に通学可能(各地区バス停留場あり)
- 教育総務課 ☎0224-83-2037



就農支援

- 村田町に住所を有する認定農業者または認定就農者が施設園芸用ビニールパイプハウスを新設または増設する場合に補助金を交付
- 農林課 ☎0224-83-6406

お試し住宅・お試し移住

- 移住や定住をお考えの方に対して村田町を体験していただくのに最適な施設です。江戸時代より残る武家屋敷に泊まって、村田町の暮らしを体験できます。詳しくは、株式会社ガイア(TEL:0224-26-8892)までお問い合わせください
- まちづくり振興課 ☎0224-83-2113

その他

結婚支援

- 結婚推進事業で出会いの場創出やセミナーを開催しています。
- 町民生活課 ☎0224-83-6401

しばたまち
柴田町



■柴田町暮らしのデータ

- 人口: 36,809人
 - 世帯数: 16,251世帯
 - 保育施設等の数: 13所
 - 小学校の数: 6校
 - 中学校の数: 3校
 - 病院の数: 2院
 - 一般診療所の数: 17所
- 令和5年4月1日時点



ホームページ

お問い合わせ
●柴田町まちづくり政策課まちづくり推進班
☎0224-54-2111
〒989-1692
宮城県柴田郡柴田町船岡中央二丁目3-45

『花のまち』柴田

柴田町は、県域を県都仙台市で二分した県南のほぼ中央に位置し、仙台から25km、仙台空港や東北自動車道・東北横断自動車道村田ICから約10kmの距離にあります。

町の北西部は200m前後の高館丘陵の南端にあたり、町の東南端を阿武隈川、中央部を白石川が流れ、町を二分しています。気候は内陸部に位置しながら海洋性の影響を受け比較的温暖で、県内でも雪の少ない地域です。宮城県で唯一さくら名所100選に選ばれた「船岡城址公園」「一目千本桜」をはじめ、さまざまな季節の花に彩られる「花のまち」です。

▶動画もチェック!



〈2つの桜の名所〉宮城県で唯一、「さくら名所100選の地」に選ばれた船岡城址公園と白石川堤の一目千本桜を同時にご覧いただけます。



〈初夏の田園風景〉里山と田畑が織りなす風景とそこに暮らす生き物たちの声が、ゆったりとした時間の流れを感じさせてくれます。

生活交通情報

仙台市との距離感
●電車: 約30分 (JR仙台駅～JR槻木駅 (東北本線)～東船岡駅 (阿武隈急行線)、JR仙台駅～JR船岡駅 (東北本線))
●車: 約40分 (仙台宮城IC～村田IC (東北自動車道)～県道14号～国道4号)

地域内の移動手段
●車: 村田IC (東北自動車道)、白石IC (東北自動車道) まで約25分
●その他: デマンド型乗合タクシーを運行

＼こんな人におすすめ!／

花が好きな方

自然も利便性も両方を求めている方

仙台市及びその近郊で仕事をしたい方

子育て

医療費助成

- 0歳から18歳到達後の年度末まで入・通院費無料 (所得制限なし)
- 子ども家庭課 ☎0224-55-2115

出産支援

- 妊産婦健診 (里帰り出産等による県外での妊産婦健診を含む) と予防接種費用の助成、妊婦歯科健診 (自己負担無料)
- 健康推進課 ☎0224-55-2160

子育て支援

- 中学3年生のインフルエンザ予防接種 (自己負担無料)
- 健康推進課 ☎0224-55-2160
- 小学校入学準備支援事業により、小学校等に入学する第3子以降の子を養育する保護者に対し、入学祝金を支給
- 教育総務課 ☎0224-55-2134

- 保護者が労働等のため、昼間家庭にいない児童等を対象とした放課後児童クラブの実施 (6か所、小学校6年生まで)
- 子育てを互いに支え合う、ファミリー・サポート・センターを組織し、様々な子育て支援を実施
- 子育て支援センターにおいて、子育て相談、各種講座やイベントの開催、育児サークルの支援などを実施。また、親子で遊べる「子育ての部屋」を無料開放
- 町の子育て支援関係の情報をまとめた「しばた子育て支援ガイドBOOK」を配布

- 町からのお知らせや子どもの成長記録、予防接種のスケジュール管理などができるスマートフォン向けの子育て応援アプリを無料配信
- 子ども家庭課 ☎0224-55-2115

就学支援

- 経済的な理由により高等学校、高等専門学校又は大学等に就学困難な学生・生徒に対し、町育英会による奨学金を貸付
- 経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費、給食費等の一部を支給
- 学校になかなか足が向かない、登校が困難な児童・生徒及びその保護者を支援し、子どもの学校復帰や自立支援を行う「子どもの心のケアハウス」を設置
- 教育総務課 ☎0224-55-2134

仕事

起業支援

- 創業を考えている方など経営に関する知識を身につけることを目的とした主催セミナーを実施
- 商工観光課 (柴田町商工会) ☎0224-55-2123 (0224-54-2207)

就農支援

- 新規就農希望者の相談内容をもとに関係機関と連携し支援。雇用就農希望者には町内の農事組合法人とのマッチングを実施
- 農政課 ☎0224-55-2122

かわさきまち
川崎町



■川崎町暮らしのデータ

- 人口: 8,224人
 - 世帯数: 3,418世帯
 - 保育施設等の数: 1所
 - 小学校の数: 3校
 - 中学校の数: 2校
 - 病院の数: 2院
 - 一般診療所の数: 2所
- 令和5年5月15日時点

お問い合わせ
●川崎町地域振興課企画係
☎0224-84-2117
〒989-1592
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1



移住に関するページ ホームページ

緑と人をはぐくむ里

雄大な蔵王連峰の東に位置する自然豊かな町であるため、蔵王国定公園などの大自然や多くの一級河川と釜房湖を有し、「緑と人をはぐくむ里」「水源郷川崎町」などの愛称で親しまれています。また、温泉郷、国営公園、スキー場などの有名な観光地もあり、年間約100万人近くの観光客が訪れます。地勢は山間盆地ですが、平均気温が約10度と東北地方では比較的温暖な地域であり、高速道路と国道を有し、仙台市と山形市の間に位置しています。



〈釜房湖と蔵王連峰〉水源郷川崎町の代名詞である釜房湖と雄大な蔵王連峰の共演



〈国営みちのく社の湖畔公園〉年間約70万人の観光客が訪れる、みちのくの憩いの空間

📺 動画もチェック! 川崎町 動画 で検索

🚗 生活交通情報

仙台市との距離感

バス: 約85分 (JR仙台駅前～かわさきまち(タケヤ交通)、約70分 (JR仙台駅前～川崎町役場前(宮城交通))
車: 約30分 (仙台宮城IC(東北自動車道)～宮城川崎IC(山形自動車道)、約45分 (国道286号線))

地域内の移動手段

各地区から町中心部へ運行する町民バスが平日のみ1日4往復運行(乗車料金100円)
車: 宮城川崎IC, 笹谷IC(山形自動車道), 村田IC(東北自動車道)が最寄りにある地区がある。

＼こんな人におすすめ!／

ふらっと仙台市に行きたい方

自然・農業・温泉が好きな方

子育て支援を重要視する方

🏠 住まい

空き家情報

- 川崎町「空き家バンク」を川崎物件ポータルサイトにて紹介
- 移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

住宅取得支援

- 空き家バンクを活用して住宅取得した移住定住者へ、取得費の50%を補助(上限50万円・45歳以下の子育て世帯が対象)
- 町内に新築住宅を取得した方へ取得費の50%を補助(上限30万円45歳以下)
- 移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

リフォーム支援

- 空き家バンクを活用した移住定住者または所有者へ、住宅修繕改修費用の50%を補助(上限15万円)
- 空き家バンクを活用した移住定住者または所有者へ、クリーニング費用の50%を補助(上限10万円)
- 移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

家賃補助

- 空き家バンクを活用して住宅賃借した移住定住者へ、家賃3万円を超える部分を36ヶ月補助(上限1万円/月・45歳以下の子育て世帯が対象)
- 移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

住宅関連負担軽減

- 空き家バンクを活用した移住定住者へ引越費用の50%を補助(上限10万円)
- 移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

👨‍👩‍👧 子育て

医療費助成

- 高校生以下の保険診療分が無料
- 保健福祉課 ☎0224-84-6008

出産支援

- 第1子・第2子に5万円の祝い金及び商品券5万円
- 妊娠検診費用14回分助成
- 町で出生した満1歳までの乳幼児のいる家庭に対して、ドラッグストア等町内締結店でおむつ等のベビー用品に使える5千円分の助成券を24枚交付
- 保健福祉課 ☎0224-84-6008

育児費用負担軽減

- 6ヶ月から12歳まで2回、13歳から15歳まで1回のインフルエンザ予防接種費を助成
- 保健福祉課 ☎0224-84-6008

就学・教育支援

- スクールバスを運行(エリア限定)
- 学務課 ☎0224-84-2308
- 18時まで利用できる放課後児童教室を設置(小学校のみ)
- 幼児教育課 ☎0224-84-5247

仕事

起業支援

- 創業支援事業計画を策定し、地域振興課を窓口とした創業支援(相談、販路開拓、資金調達等)を実施。認定事業者へは最大30万円の補助金を交付

■地域振興課 ☎0224-84-2117

就農支援

- 町認定新規就農者が農業経営に必要な機械購入費の50%を補助(上限100万円)

■農林課 ☎0224-84-2304(内線1153)

相談・体験

おためし移住ツアー

- 年間4回程度おためし移住ツアーを実施予定

■移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

その他

結婚支援

- 婚活会を年間1回程度実施し、出会いの場を提供。結婚すると祝い金3万円を支給

■町民生活課 ☎0224-84-2112(内線1111)

お米のプレゼント

- 空き家バンクを活用した移住定住者へ川崎産ひとめぼれ30kgを3年間プレゼント

■移住定住サポートセンター「SPRING」
☎0224-51-8789

県南エリア

まるもりまち
丸森町



お問い合わせ

●丸森町子育て定住推進課定住推進班
☎0224-51-9905
〒981-2192
宮城県伊具郡丸森町字烏屋120番地



移住に関するページ



ホームページ

丸森町暮らしのデータ

- 人口: 12,108人
 - 世帯数: 4,939世帯
 - 保育施設等の数: 4所
 - 小学校の数: 2校
 - 中学校の数: 1校
 - 病院の数: 1院
 - 一般診療所の数: 2所
- 令和5年4月1日時点

水とみどりの輝くまち 丸森

丸森町は、宮城県最南端に位置し、町土の7割を森林が占める緑豊かな中山間地域の町です。気候は年間平均気温が12度と比較的温暖で、四季の移ろいが実感できる暮らしやすい土地です。町内は8地区に分かれており、それぞれ特色あるまちづくりを実施しています。移住定住の総合窓口として「まるもり移住・定住サポートセンター【じゅーぴたっ】」を阿武隈急行線 丸森駅舎内に、開設しています。お気軽にご相談ください。



〈不動尊公園キャンプ場〉
日帰りBBQや川遊びもできる



〈齋理幻夜〉
毎年8月に行われ、絵とろうの灯りが幻想的なお祭り「齋理幻夜」

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車: 約60分 (JR仙台駅～丸森駅 (阿武隈急行線))
- ・バス: 約70分 (JR仙台駅東口～丸森舘矢間 (東北アクセスバス))
- ・車: 高速道路利用で約70分 (仙台～奥州街道 (陸羽街道)～長町IC (仙台南部道路)～山元IC (常磐自動車道)～国道113号線～丸森)
一般道のみで約90分 (仙台～国道4号線)～槻木～国道(349号線)～丸森

地域内の移動手段

- ・自家用車の必要性は高い
- ・路線バス(6路線)及びデマンド型乗合タクシーが運行
- ・車: 東北自動車道 白石ICまで車で約40分、常磐自動車道 新地IC・山元ICまで車で約20分

＼こんな人におすすめ!／

自然とふれあいながら
子育てしたい方

起業したい方

アウトドアが
好きな方

空き家情報

●【空き家データベース】

町内空き家情報のデータベースを整備し、空き家を売りたい・貸したい方と買いたい・借りたい方のマッチングをしています。

■まるもり移住・定住サポートセンター

☎0224-87-7837

●【空き家再生支援事業、家財道具等処分・清掃支援事業】

空き家を購入する方・借りる方、空き家を売却・賃貸する所有者が対象の補助制度
※要問合せ

■子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

住宅取得支援

●町内で住宅を取得する場合、対象経費の1/20の額を補助します。(上限:100万円)

※申請者又は配偶者が45歳未満の方が対象

※子育て世帯・新規転入世帯に該当する場合は、加算補助あり

(要問合せ)

■子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

リフォーム支援

●自己が居住するための住宅をリフォームする場合、対象経費の1/6の額を補助します。(上限:50万円)

(上限:50万円)

※申請者又は配偶者が45歳未満の方が対象

※施工者が町内建築業者の場合は、加算補助あり

(要問合せ)

■子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

家賃補助

●町内の民間賃貸住宅に入居する場合、入居時5万円と家賃一月分の額(上限50,000円)を補助します。

※申請者又は配偶者が45歳未満の方が対象

(要問合せ)

■子育て定住推進課 ☎0224-51-9905



医療費助成

●18歳の年度末まで、保険診療の自己負担を全額助成します。※所得制限なし

■保健福祉課 ☎0224-72-3014

出産支援

●【WARASKO(わらすこ)(妊娠期から子育て期の総合相談窓口)】

妊娠期から切れ目なく子育て世代のみなさんをサポートする拠点です。妊婦さんのサポートや新生児訪問、子育て中の不安やお悩み解消のお手伝いをします。

●【妊娠・出産祝い金】

妊娠とお子さんの誕生をお祝いし、妊娠祝い金(ギフト券3万円)、出産祝い金(10万円)をお渡しします。他に国の出産・子育て応援給付金があります。

●【妊産婦健診の助成】

妊婦健診14回分と産婦健診2回分の助成券をお渡しします。

●【産後ケア利用料の助成】

産後1年までの母子の身体的・心理的ケアを受けるための利用料を助成します。

■子育て定住推進課 ☎0224-87-7521

●【新生児聴覚検査費助成】

聴覚障害を早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な療育を受けられるようにするため、お子さんが生まれた産科利用機関などでおこなう検査です。母子健康手帳交付時に助成券をお渡しします。

●【不妊治療の助成】

一般不妊治療費および生殖補助医療費の自己負担額を全額助成します。

■保健福祉課 ☎0224-51-9903

子育て支援

●【家事・育児支援サービス利用応援事業】

未就学児のいるご家庭の家事代行やシッターなどのサービス利用料を助成します。

●【一時保育利用料の助成】

0~2歳のお子さんをご家庭で保育している世帯に、一時保育利用券をお渡しします。

●【まるもりすくすくナビ(母子モ)】

健診や予防接種の日程を忘れないようにアプリがお手伝いします。子育てに関する情報も随時配信しています。

●【産婦人科・小児科オンライン医療相談】

産婦人科・小児科の医療現場で活躍している医師・助産師によるオンライン医療相談サービスです。丸森町にお住まいの方限定で、無料で何度でもご利用いただけます。

●【1・3歳児に絵本のプレゼント】

健診時に、こどもの名前入りのオリジナル知育絵本をプレゼントします。

■子育て定住推進課 ☎0224-87-7521

●【第2子以降保育料等無料化事業】

18歳未満のお子さんが2人以上いる場合、第2子以降のお子さんの保育料等を助成により無料化しています。

※所得制限なし

●【第1子児童副食費等助成事業】

第1子のお子さんの副食費と副食費相当額を助成します。

●【放課後児童クラブ】

町内各地区で放課後児童クラブを開設

■子育て定住推進課 ☎0224-72-3013

●【あかちゃん相談】

出生から1歳6か月までのお子さまを対象に、身長・体重測定や育児・離乳食の相談を行っています。

●【任意予防接種の費用助成】

季節性インフルエンザ、おたふくかぜ、風しんワクチンの予防接種の費用を助成します。

■保健福祉課 ☎0224-51-9903

●【学校給食費無償化事業】

小中学生の学校給食費を無償化します。

■学校教育課 ☎0224-72-3035

就学・教育支援

●【子ども学び塾】

小学生を対象とした学習支援塾(子ども学び塾)を町が開設しています。

●【小学校入学祝金】

小学校に入学した児童の保護者に、小学校入学祝金(児童一人につき3万円)を支給します。

■学校教育課 ☎0224-72-3035

●【町営学習塾】

中学生を対象とした学習支援塾を町が開設しています。

■生涯学習課 ☎0224-87-7245

仕事

就職支援

- 町内企業と求職者の架け橋になる求人サイト「丸森町のお仕事探し〜Maru Job〜」を開発。求人情報の閲覧だけでなく、求人への応募もサイト内から可能です。



■丸森町商工観光課 ☎0224-87-7620

起業支援

- 起業サポートセンター「CULASTA」を蔵の郷土館齋理屋敷内に開設。専門スタッフが週1回常駐し、起業や経営に関する相談に応えるワンストップ窓口です。
- 町内空き店舗等活用して開業する方を対象に、改装費用及び器械設備費用の1/3以内の額を補助します。(上限100万円)

■商工観光課 ☎0224-87-7620

就農支援

- 一定の要件を満たした新規就農者に対し、資金面や設備投資等の補助事業があります

■農林課 ☎0224-72-2113

相談・体験

移住相談窓口

- 阿武隈急行線丸森駅舎内に開設しています。オンライン移住相談対応可能です。
- まるもり移住・定住サポートセンター ☎0224-87-7837

その他

結婚支援

- 【結婚新生活支援事業】結婚に伴う新生活にかかる費用を支援します(リフォーム費用、住宅借借費用、引越費用)。対象は、夫婦ともに45歳未満で、夫婦の双方または一方が丸森町に住所がある夫婦です。

- 【婚活支援】丸森町に住民登録している20歳以上の方を対象に、町と契約している業者が提供する結婚相手紹介サービスの入会金と月会費を補助します。(1年目1/2補助、2・3年目1/3補助)。また、みやぎ結婚支援センター「みやマリ」の入会登録料を全額補助します。

※要問合せ
■子育て定住推進課 ☎0224-51-9905

地域おこし協力隊

- H28.7月に丸森町第1号隊員が着任後、R5.4月までで累計で53名が着任しています。(隊員のミッション例)
- (1)移住定住サポートセンターの運営、相談
- (2)地域資源等を活用し町内で事業を起こす活動
- (3)町の新たな特産品開発、インバウンド、飲食店運営等、地域に根差した交流推進活動
- (4)農業生産、森林整備、直売所支援

■企画財政課 ☎0224-72-3024

東京圏から宮城県に移住される方へ

令和5年4月時点



移住支援金のお知らせ

世帯移住100万円

単身移住60万円

(18歳未満の世帯員の方が一緒に移住される場合は、18歳未満の方おひとりにつき100万円が加算されます。)
※令和5年4月1日以降に移住する場合

主な要件

- 1 移住元** 東京23区在住者、または東京圏から東京23区への通勤者*
- 2 移住先** (1)～(5)のいずれかの要件に当てはまる方
 - (1) 「みやぎ移住ガイド」に掲載されている対象求人¹に就業した方
 - (2) 「みやぎUターン起業支援補助金」の交付決定を受けた方
 - (3) ご自身の意志で地方に移住し、移住先を生活の拠点として、移住元での業務を引き続きテレワークで行う方
 - (4) 専門人材事業を活用して就業された方
 - (5) 移住(予定)先の市町村が設定した関係人口²に該当する方
- 3 移住後** 支援金申請後、5年以上継続して居住する意志がある方

*住民票を移す直前の10年間のうち、通算5年以上かつ直近の1年以上、東京23区内に在住、または東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県(一部地域を除く))に在住し、東京23区内へ通勤をしていた方。
なお、東京23区内の大学等に通学し、23区内の企業へ就職した方については、通学期間も上記対象期間に加算することが可能です。移住支援金の支給要件は、上記の「主な要件①～③」の他にも様々な要件があります。制度が変更となっている場合がありますので、詳しくは移住専用サイト「みやぎ移住・交流ガイド」をご覧ください、最新の状況をご確認ください。

移住支援金Q&A

- Q1 対象者の年齢制限はあるか。
A1 ありません。ただし、18歳未満の世帯員の方を帯同して移住された場合の加算については、申請日が属する年度の4月1日時点において18歳未満の方が対象となります。
- Q2 申請期限はあるか。
A2 移住後、1年以内に移住先の市町村に申請する必要があります。
※申請開始可能時期は移住先市町村によって異なります。
- Q3 移住支援金の使途に制限はあるか。
A3 ありません。
- Q4 移住地と就業地の市町村が異なっても、対象となるか。
A4 対象となります。申請については、移住先の市町村に行ってください。
- Q5 受給後、返還する場合はあるか。
A5 主な返還要件は、次の2点です。
①支援金の申請日から1年以内に対象企業を退職した場合。
②移住後、5年未満で県外へ転出した場合。
- Q6 移住支援金は課税対象か。
A6 所得税法第34条に規定する一時所得に該当するため、課税対象となります。
- 詳しくは [みやぎ移住・交流ガイド](#) 🔍